

2024年1月18日

福島工場の閉鎖について

パナソニック コネクト株式会社(プレジデント・CEO 樋口泰行、以下「コネクト」)は、2025年5月に、当社が管轄する福島工場を閉鎖することを本日発表します。

1970年に設立された福島工場は、ラジオの生産からスタートし、以降システムステレオ、ポータブルCD、CDラジカセ、といったオーディオ関連製品の生産、2004年からデジタルスチルカメラの生産を手掛けるなど、これまでパナソニックのオーディオ・イメージング事業を支えてきた拠点です。

2015年5月からは、10年間の定期建物賃借契約をパーソルファクトリーパートナーズ株式会社(以下、「PFA」、契約当時の社名はパナソニック エクセルプロダクツ株式会社)様との間で締結。PFA様は福島工場を活用し、現在に至るまでの間、パナソニック社内外の製品の生産受託を行ってまいりました。

しかしながら、現在の福島工場は経年劣化などによる工場としてのインフラの老朽化が著しく、建屋については今後使用するにあたっての安全性を十分に確保することは困難である状況にあります。これらの状況を鑑み、現在、福島工場を管轄するコネクトとして、PFA様との賃借契約が満了する2025年5月に福島工場を閉鎖する判断に至りました。

この結論に至るまで、地元の経済へ引き続き貢献したいという思いで工場の建て直しへの投資も視野にパナソニックグループ含め社内での利活用策を徹底的に検討してまいりましたが、残念ながら実現できず、結果として、これまで長きに亘って使わせていただいていたこの地を閉鎖することといたしました。なお、2025年5月を予定している拠点閉鎖後については現時点で決定しておらず、今後、活用策を広く探っていくことにしています。

【パナソニック コネクト 福島工場の概要】

所在地	福島市太平寺字一本柳1番地
操業開始	1970年
敷地	約 52,000 m ²
建物	約 22,000 m ²

【パナソニック コネクト株式会社について】

パナソニック コネクト株式会社は 2022 年 4 月 1 日、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い発足した、B2B ソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約 29,500 名の従業員を擁し、売上高は 1 兆 1,257 億円※を計上しています。「現場から 社会を動か し 未来へつなぐ」をパーパス(企業としての存在意義)として掲げ、製造業 100 年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベートすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

※2022 年度売上高

以上